

留学先大学：カレル大学

留学先での所属学部・研究科：Faculty of Social Sciences

留学先での在籍身分：交換留学生（Erasmusに準じる）

留学期間：2013年9月～2014年6月

神戸大学での所属学部・研究科：法学部

学年（出発時）：4年

本報告書記入日：2013年11月17日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

- ・カレル大学に留学している学生とのFBメッセージによる質問
- ・在チェコ日本大使館、在東京チェコ大使館
- ・Czech investのHP
- ・現地在住邦人のブログ

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮、アパート）の名前：
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）なし
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：40分、路面電車・地下鉄
- ・住居の周りの環境はどうか。：

自然の多い閑静な住宅地に位置するため、普段は静か。ただしラテン系の学生が深夜までパーティーを行うことがあるため、その時間帯は賑やかになる。スーパーマーケットや路面電車の駅までは徒歩10分程度。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

朝は自炊をします。昼は学食か外食、夜は自炊か外食をすることが多いです。食品は日本より安いので、自炊を行えば大幅な節約になります。ピザやサンドイッチ等の軽食類でもレストランでも、外食代は日本とそれほど変わりません。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

住居は大学が用意した寮に入っています。入学許可と同時にビザ申請の便宜を図るために自動的に割り当てられ、希望する場合はデポジットを支払って入居することができます。トラブルとしては、異性の学生と同室に入居することになっていました。（別々の部屋にしてもらうことはできました。）

大学の授業について**1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

他の授業と時間帯が重複、本年度は開講されない、定員を超えの授業もありました。履修登録は先着順のため、学生証を手に入れた後すぐにSIS（神戸大学のうりぼーネットに相当）で登録しなければ1日で埋まる授業もあります。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Czech for Beginners I	Elita	4時間	6	12人	クラスによりますが、先生の説明は90%がチェコ語。日本で基本的なことは勉強しなければ、とてもついていけません。テストは中間テストと期末テスト。
2	European Economic Integration(lecture)	Oldřich Dědek	80分	※6	120人	下記のseminarと合わせて1つの科目であり、セットで6単位です。共通する内容もありますが、同時に行うことは異なります。
3	European Economic Integration(seminar)	Arshad Hayat 他3名	80分	※6	80人	前半は参考文献を理解する予習が出ます。毎回正誤式の小テストがあり、参考文献と授業をしっかりと聞いていけば解けます。後半は、各学生がプレゼンテーションを行います。
4	Economic Policy of the Czech Republic	Miroslav Zámečník	160分	6	120人	2回の中間テスト+期末テストで評価されます。復習ではグラフの重要ポイントを抑えることが重要です。
5	English for Economics I	Marcela Staňková	2時間	2	20人	2回のテスト+プレゼンで評価されます。経済学に関する語彙+熟語が題材となります。プレゼンはチームで行います。
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

学部レベルの授業は講義形式もありますが、大学院レベルだと少人数(15人~20人)の授業が多いです。留学生向けの授業(英語)に関する単位認定は、正規学生のそれよりも甘いと聞きました。そのためか学生の取り組みはそれぞれであり、授業中にFBやゲームをしている学生も積極的に質問や意見を述べる学生もいます。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日	
8:00								
9:00	Czech for Beginners I	予習・復 習	Czech for Beginners I	予習・復 習	language exchange	やるべき 勉強が終 われば自 由に過ご す	土曜と同 じ	
10:00								↓↓
11:00								↓↓
12:00	予習・復 習							
13:00					Economic Policy of the CR			
14:00					↓↓			
15:00	English for Economics	欧州経済 統合 (lecture)		欧州経済 統合 (seminar)				
16:00			日本語を 教える					
17:00			↓↓					
18:00	language exchange		↓↓	日本語を 教える				
19:00	↓↓							
20:00					バディー らと外出			
21:00					↓↓			
22:00	語学学習	語学学習	語学学習	語学学習				

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

・ビザに関して

社会科学部は安心、その他の学部は要注意です。社会科学部の事務方はどうやら哲学・文学部よりも事務処理能力が高いようで、素早く入学許可書が届きました。在日本チェコ大使館の対応も素早く、申請から1か月ほどで郵送されました。哲学・文学部に所属している東京外大の学生は、書類の到着が間に合わずウィーンへビザを取りに行きました。

・チェコの生活について

プラハの生活水準は日本とそれほど変わりません。物価に関しては、日本よりも少し低い程度という現状です。為替変動や人件費の急騰により、近年特にプラハでは物価が上昇しているようです。生活情報を手に入れるには、Czech Invest (<http://www.czechinvest.org/jp>)というサイトが役立ちます。また、チェコの経済・社会状況に関心のある方は同HPで情報収集することをお勧めします。企業向けの内容が多いですが、ほぼ全てのページを日本語で閲覧可能ですし授業の前提知識を得る材料になります。

・学校

社会科学部の国際関係と経済学の授業は約半数が英語で開講されているため、留学生にとっては選択の幅があります。それとは反対に、法学・人文・哲学部における英語開講の授業数には限りがあるようです。授業の実質的な難易度については神戸大学と同じか少し難しい程度だと感じています。念入りな予習をしなければ理解できない点が多いのですが、それは英語力の問題が大きいと考えており反省をしています。カレル大学の場合TOEFLの具体的な点数は申請要件でないのですが、積極的な参加を行うためには感覚的にiBT90点程度の力が必要でしょう。多くの学生は英語がずっと堪能なため、私が発言しようとしても一瞬の差で先を取られることが多々あります。

余談ですが、大学の事務方に旅行先のお土産を渡して少し話をするのと対応が段違いによくなります。驚きました。お土産効果を強調しておきます。もう1つ付け加えたい事は、観光客気分に入るのは数日間にしなければならないという点です。素晴らしい物事に溢れる街であるが故に、学校以外の物事に意識を向け過ぎてしまったと反省しています。

・寮について

Social Sciences の寮はKolej Hvezdaという名前です。家賃が大変安い事は利点ですが、デリケートな方でさらに資金に余裕のある方は、カレル大学国際課の職員に連絡して別の寮に変更してもらおうか自分でフラットを探すようお勧めします。快適・きれいという場所ではありません。ただ、スペイン人留学生が多いためパーティー好きな方にはお勧めの寮です。

・チェコ語について

結論から言えば、チェコ語に関しての基礎的な能力は必要ですが日常会話レベル以上は趣味の世界で行えば良いです。授業は英語で行われることを考えると、まずは英語力を向上させる必要があると感じています。自分から助けを求めれば若者が通訳をしてくれます。観光地・病院・銀行などは英語に対応する場合もあるので、それほど困りません。但し、年配の方(約50歳以上)は英語を理解しない方が多いです。寮の職員はほとんど英語を解さないため苦労しました。さらに大学のチェコ語コースでは、初心者向けの授業にもかかわらずチェコ語で90%が進行するため、最低限の語彙や文法知識は必要です。予備知識なしだった学生は授業について行くのが大変そうです。

・交流について

バディーについて言えば、僕の場合は運がよく大変親切な方がペアになりました。この人を通じて他のチェコ人や東京外大をはじめ他大学の学生と知り合うことができたり、初期段階の手続きやチェコ語関係で困ったりしたことは彼に助けられました。寮では共用スペースで他の留学生と交流を持つことができます。キッチンで料理中になど。また、日本学科の現地学生とは関わりを持つべき。イベントを企画して集まることもあります。最後に、ここへ来て感じたことは日本に興味を持っている人の多さです。日本に留学した・日本語を話せる・行ってみたい・旅行したことがある・災害など、日本学科の学生に限らず街で偶然会った人にも話を聞かれました。伝統的な面も現代的な面も、自国の文化や社会を知って話のタネにすれば会話が弾みます。